

**令和2年度(2020年度)
函館市病院事業の経営実績**

令和3年(2021年)8月
函館市病院局

目 次

I 令和2年度の経営状況

- 1 患者数等および収支状況 1～4 ページ
- 2 主な経営指標等 5～6 ページ

II 過去5か年の経営実績

- 1 医業収益（函館病院） 7～8 ページ
- 2 医業収益（恵山病院） 9 ページ
- 3 医業収益（南茅部病院） 10 ページ
- 4 函館病院の医業収益に対する材料費の割合 11 ページ

III （新）改革プラン収支計画との比較

- 1 収支計画と実績の比較 12 ページ
- 2 函館病院の経営効率化に向けた取り組みの実績 13～14 ページ

参考：市立函館病院における新型コロナウイルス感染症への対応について
（令和2年2月～令和3年5月31日） 15 ページ

I 令和2年度の経営状況

1 患者数等および収支状況

① 函館病院

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年となりました。入院患者数は、前年度に比べ33.5人減の437.1人、年間新規入院患者数（入院件数）は311人減の11,952人となり、年間平均在院日数は0.6日縮まり12.3日となっています。外来患者数（入院中外来を除く）は、前年度に比べ78人減の656.6人となっています。なお、道南地域において新型コロナウイルス感染症の患者が確認（令和2年2月）されて以降、実人数で172人の患者を受け入れています。

区 分	R元決算 A	R2決算見込B	差引B-A
入院患者数	470.6 人/日	437.1 人/日	△ 33.5 人/日
年間新規入院患者数	12,263 人	11,952 人	△ 311 人
年間平均在院日数	12.9 日	12.3 日	△ 0.6 日
外来患者数(入院中外来を除く)	734.6 人/日	656.6 人/日	△ 78.0 人/日
病床利用率(運用病床)	96.0 % (3月末時点一般490床)	89.7 % (3月末時点一般487床)	△ 6.3 %

※函館病院許可病床数 一般598床（一般病床582，結核病床10，感染病床6），精神50床

令和2年度のコロナ関連の特殊な補助金を除いた決算見込は、8,613万円の黒字となりました（単年度資金収支額 a）。前年度と比べ、患者数は減となりましたが、診療単価の増により入院収益が増加したこと等から、実質収支の比較では5,119万2千円のプラスとなりました。改革プランに対しては9,087万円のマイナスとなっています。なお、令和2年度から会計年度任用職員制度の導入により、臨時・嘱託職員の人件費は経費から給与費に科目を変更しています。

※前年度等との比較のため、コロナ関連の特殊な補助金を除いて記載しています。（単位：千円）

科目		R元決算A	R2決算見込B	差引B-A	R2改革プランC	差引B-C
経常収益	入院収益	12,782,382	13,257,302	474,920	12,901,000	356,302
	外来収益	4,356,113	4,217,337	△ 138,776	4,099,000	118,337
	その他	280,806	225,935	△ 54,871	305,000	△ 79,065
	一般会計繰入金	348,517	346,535	△ 1,982	351,000	△ 4,465
	計	17,767,818	18,047,109	279,291	17,656,000	391,109
医業外・学院収益 (うち一般会計繰入金)		1,679,440 (764,101)	1,749,025 (757,388)	69,585 (△ 6,713)	1,706,000 (839,000)	43,025 (△ 81,612)
計		19,447,258	19,796,134	348,876	19,362,000	434,134
経常費用	給与費	7,911,850	8,876,994	965,144	7,950,000	926,994
	材料費	5,438,995	5,710,350	271,355	5,264,000	446,350
	経費	3,688,061	2,963,424	△ 724,637	3,771,000	△ 807,576
	その他	748,878	611,637	△ 137,241	661,000	△ 49,363
	計	17,787,784	18,162,405	374,621	17,646,000	516,405
医業外・学院・予備費		1,242,579	1,321,338	78,759	1,148,000	173,338
計		19,030,363	19,483,743	453,380	18,794,000	689,743
経常損益		416,895	312,391	△ 104,504	568,000	△ 255,609
特別利益		777,678	695,866	△ 81,812	658,000	37,866
特別損失		72	40	△ 32	10,000	△ 9,960
純損益		1,194,501	1,008,217	△ 186,284	1,216,000	△ 207,783
損益勘定留保資金等		△ 259,438	△ 116,309	143,129	△ 211,000	94,691
小計		935,063	891,908	△ 43,155	1,005,000	△ 113,092
資本的収入 (うち一般会計繰入金)		1,142,603 (1,123,869)	1,296,860 (1,017,734)	154,257 (△ 106,135)	1,018,000 (1,015,000)	278,860 (2,734)
資本的支出		2,042,728	2,102,638	59,910	1,846,000	256,638
資本的収支差引		△ 900,125	△ 805,778	94,347	△ 828,000	22,222
単年度資金収支額 a		34,938	86,130	51,192	177,000	△ 90,870
一般会計繰入金 合計		2,236,487	2,121,657	△ 114,830	2,205,000	△ 83,343
うち特殊な繰入金等 b			0	0		0
実質収支 a-b		34,938	86,130	51,192	177,000	△ 90,870

② 恵山病院

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年となりました。
 入院患者数は、前年度に比べ1.7人減の36.8人となっています。
 外来患者数は、前年度に比べ5.4人減の49.9人となっています。
 病床利用率は、前年度に比べ18.2%下回り78.2%となっています。

区 分	R元決算 A	R2決算見込B	差引B-A
入院患者数	38.5 人/日	36.8 人/日	△ 1.7 人/日
外来患者数	55.3 人/日	49.9 人/日	△ 5.4 人/日
病床利用率（運用病床）	96.4 % (3月末時点40床)	78.2 % (3月末時点47床)	△ 18.2 %

※恵山病院許可病床数 療養60床

令和2年度のコロナ関連の特殊な補助金を除いた決算見込は、2,672万3千円の赤字となりました（単年度資金収支額 a）。前年度と比べ、患者数の減等により入院・外来収益が減少しましたが、人事異動等による給与費の減により、一般会計からの特殊な繰入金で6,635万4千円マイナスとなったほか、一般会計からの特殊な繰入金を除いた実質収支の比較では3,751万3千円のプラスとなりました。改革プランに対しては7,400万円のマイナスとなっています。

※前年度等との比較のため、コロナ関連の特殊な補助金を除いて記載しています。（単位：千円）

科目		R元決算A	R2決算見込B	差引B-A	R2改革プランC	差引B-C
経常収益	入院収益	298,506	297,760	△ 746	337,000	△ 39,240
	外来収益	103,194	89,309	△ 13,885	149,000	△ 59,691
	その他	14,482	16,319	1,837	14,000	2,319
	一般会計繰入金	37,991	37,991	0	38,000	△ 9
	計	454,173	441,379	△ 12,794	538,000	△ 96,621
経常費用	医業外収益	261,599	191,580	△ 70,019	143,000	48,580
	（うち一般会計繰入金）	(246,495)	(178,309)	(△ 68,186)	(130,000)	(48,309)
計		715,772	632,959	△ 82,813	681,000	△ 48,041
経常費用	給与費	418,309	413,415	△ 4,894	361,000	52,415
	材料費	54,809	55,193	384	71,000	△ 15,807
	経費	175,479	121,578	△ 53,901	190,000	△ 68,422
	その他	37,041	36,587	△ 454	39,000	△ 2,413
	計	685,638	626,773	△ 58,865	661,000	△ 34,227
医業外費用		29,955	26,589	△ 3,366	24,000	2,589
計		715,593	653,362	△ 62,231	685,000	△ 31,638
経常損益		179	△ 20,403	△ 20,582	△ 4,000	△ 16,403
特別利益		9,873	11,070	1,197	11,000	70
特別損失			3	3	1,000	△ 997
純損益		10,052	△ 9,336	△ 19,388	6,000	△ 15,336
損益勘定留保資金等		12,777	8,791	△ 3,986	20,000	△ 11,209
小計		22,829	△ 545	△ 23,374	26,000	△ 26,545
資本的収入		21,847	19,935	△ 1,912	20,000	△ 65
（うち一般会計繰入金）		(21,847)	(19,935)	(△ 1,912)	(20,000)	(△ 65)
資本的支出		42,558	46,113	3,555	46,000	113
資本的収支差引		△ 20,711	△ 26,178	△ 5,467	△ 26,000	△ 178
単年度資金収支額 a		2,118	△ 26,723	△ 28,841	0	△ 26,723
一般会計繰入金 合計		306,333	236,235	△ 70,098	188,000	48,235
うち特殊な繰入金等 b		126,631	60,277	△ 66,354	13,000	47,277
実質収支 a-b		△ 124,513	△ 87,000	37,513	△ 13,000	△ 74,000

③ 南茅部病院

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年となりました。
 入院患者数は、一般では前年度に比べ0.3人減の21.0人となっています。
 また、療養では前年度に比べ6.2人減の6.9人となっています。
 外来患者数は、前年度に比べ6.2人減の72.7人となっています。
 病床利用率は、前年度に比べ11.0%下回り47.3%となっています。

区 分	R元決算 A	R2決算見込B	差引B-A
入院患者数（一般）	21.3 人/日	21.0 人/日	△ 0.3 人/日
〃（療養）	13.1 人/日	6.9 人/日	△ 6.2 人/日
外来患者数	78.9 人/日	72.7 人/日	△ 6.2 人/日
病床利用率（運用病床）	58.3 % (3月末時点59床)	47.3 % (3月末時点59床)	△ 11.0 %

※南茅部病院許可病床数 一般37床、療養22床

令和2年度のコロナ関連の特殊な補助金を除いた決算見込は、397万7千円の赤字となりました（単年度資金収支額 a）。前年度と比べ、患者数や診療単価の減により入院・外来収益が減少しましたが、診療応援に係る経費の減等により、一般会計からの特殊な繰入金金は3,017万5千円マイナスとなったほか、一般会計からの特殊な繰入金を除いた実質収支の比較では1,320万4千円のプラスとなりました。改革プランに対しては3,356万3千円のマイナスとなっています。

※前年度等との比較のため、コロナ関連の特殊な補助金を除いて記載しています。（単位：千円）

科目		R元決算A	R2決算見込B	差引B-A	R2改革プランC	差引B-C
経常収益	入院収益	209,398	179,428	△ 29,970	255,000	△ 75,572
	外来収益	109,688	94,050	△ 15,638	115,000	△ 20,950
	その他	8,572	7,341	△ 1,231	9,000	△ 1,659
	一般会計繰入金	37,991	37,991	0	38,000	△ 9
	計	365,649	318,810	△ 46,839	417,000	△ 98,190
経常費用	医業外収益	252,605	229,381	△ 23,224	190,000	39,381
	（うち一般会計繰入金）	(250,226)	(225,792)	(△ 24,434)	(187,000)	(38,792)
計		618,254	548,191	△ 70,063	607,000	△ 58,809
経常費用	給与費	275,910	370,810	94,900	298,000	72,810
	材料費	72,462	60,388	△ 12,074	82,000	△ 21,612
	経費	230,277	109,957	△ 120,320	234,000	△ 124,043
	その他	3,847	3,187	△ 660	5,000	△ 1,813
	計	582,496	544,342	△ 38,154	619,000	△ 74,658
医業外費用		17,650	16,581	△ 1,069	18,000	△ 1,419
計		600,146	560,923	△ 39,223	637,000	△ 76,077
経常損益		18,108	△ 12,732	△ 30,840	△ 30,000	17,268
特別利益		10,355	9,107	△ 1,248	9,000	107
特別損失			0	0	1,000	△ 1,000
純損益		28,463	△ 3,625	△ 32,088	△ 22,000	18,375
損益勘定留保資金等		△ 5,581	8,803	14,384	32,000	△ 23,197
小計		22,882	5,178	△ 17,704	10,000	△ 4,822
資本的収入		10,162	9,031	△ 1,131	9,000	31
（うち一般会計繰入金）		(10,162)	(9,031)	(△ 1,131)	(9,000)	(31)
資本的支出		20,050	18,186	△ 1,864	19,000	△ 814
資本的収支差引		△ 9,888	△ 9,155	733	△ 10,000	845
単年度資金収支額 a		12,994	△ 3,977	△ 16,971	0	△ 3,977
一般会計繰入金 合計		298,379	272,814	△ 25,565	234,000	38,814
うち特殊な繰入金等 b		126,761	96,586	△ 30,175	67,000	29,586
実質収支 a-b		△ 113,767	△ 100,563	13,204	△ 67,000	△ 33,563

④ 3病院合計

3病院の合計では、コロナ関連の特殊な補助金を除いて5,543万円の黒字となりました（単年度資金収支額a）。前年度と比べ、函館病院の入院収益が増加したこと等により、一般会計からの特殊な繰入金を除いた実質収支の比較では1億190万9千円のプラス、改革プランに対しては1億9,843万3千円のマイナスとなっています。

なお、参考として、過去5か年の特殊要素を除いた実質収支の推移を記載しています。

※前年度等との比較のため、コロナ関連の特殊な補助金を除いて記載しています。（単位：千円）

科目		R元決算A	R2決算見込B	差引B-A	R2改革プランC	差引B-C	
経常収益	医療収益	入院収益	13,290,286	13,734,490	444,204	13,493,000	241,490
		外来収益	4,568,995	4,400,696	△ 168,299	4,363,000	37,696
		その他	303,860	249,595	△ 54,265	328,000	△ 78,405
		一般会計繰入金	424,499	422,517	△ 1,982	427,000	△ 4,483
	計	18,587,640	18,807,298	219,658	18,611,000	196,298	
	医療外収益	2,193,644	2,169,986	△ 23,658	2,039,000	130,986	
	(うち一般会計繰入金)	(1,260,822)	(1,161,489)	(△ 99,333)	(1,156,000)	(5,489)	
	計	20,781,284	20,977,284	196,000	20,650,000	327,284	
経常費用	医療費用	給与費	8,606,069	9,661,219	1,055,150	8,609,000	1,052,219
		材料費	5,566,266	5,825,931	259,665	5,417,000	408,931
		経費	4,093,817	3,194,959	△ 898,858	4,195,000	△ 1,000,041
		その他	789,766	651,411	△ 138,355	705,000	△ 53,589
	計	19,055,918	19,333,520	277,602	18,926,000	407,520	
	医療外・学院・予備費	1,290,184	1,364,508	74,324	1,190,000	174,508	
	計	20,346,102	20,698,028	351,926	20,116,000	582,028	
経常損益		435,182	279,256	△ 155,926	534,000	△ 254,744	
特別利益		797,906	716,043	△ 81,863	678,000	38,043	
特別損失		72	43	△ 29	12,000	△ 11,957	
純損益		1,233,016	995,256	△ 237,760	1,200,000	△ 204,744	
損益勘定留保資金等		△ 252,242	△ 98,715	153,527	△ 159,000	60,285	
小計		980,774	896,541	△ 84,233	1,041,000	△ 144,459	
資本的収入		1,174,612	1,325,826	151,214	1,047,000	278,826	
(うち一般会計繰入金)		(1,155,878)	(1,046,700)	(△ 109,178)	(1,044,000)	(2,700)	
資本的支出		2,105,336	2,166,937	61,601	1,911,000	255,937	
資本的収支差引		△ 930,724	△ 841,111	89,613	△ 864,000	22,889	
単年度資金収支額a		50,050	55,430	5,380	177,000	△ 121,570	
一般会計繰入金 合計		2,841,199	2,630,706	△ 210,493	2,627,000	3,706	
うち特殊な繰入金等 b		253,392	156,863	△ 96,529	80,000	76,863	
実質収支 a-b		△ 203,342	△ 101,433	101,909	97,000	△ 198,433	

実質収支の推移

(単位：千円)

区分	H28	H29	H30	R元	R2
函館病院	△ 998,890	△ 988,156	78,290	34,938	86,130
恵山病院	△ 13,598	△ 94,902	△ 49,847	△ 124,513	△ 87,000
南茅部病院	△ 56,636	△ 91,408	△ 86,864	△ 113,767	△ 100,563
3病院合計	△ 1,069,124	△ 1,174,466	△ 58,421	△ 203,342	△ 101,433

2 主な経営指標等

① 経営指標に係る数値目標と実績

(単位：%)

区分	函館病院		恵山病院		南茅部病院	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
H30	104.5	101.0	93.2	65.6	105.7	71.3
R元	102.2	99.9	100.0	66.2	103.0	62.8
R2目標 (改革プラン)	100%以上	95%以上	100%以上	73%以上	100%以上	73%以上
R2実績	110.0	99.4	100.7	70.4	100.8	58.6

(参考) 同規模病院の全国平均値 (平成30年度)

区分	500床以上の病院		不採算地区病院で 50床以上100床未満	
	経常収支比率	医業収支比率	経常収支比率	医業収支比率
民間病院	98.2	97.4	—	—
公的病院 (自治体以外)	100.7	100.4	—	—
公立病院 (黒字)	102.3	98.7	103.2	80.3
公立病院 (上位1/2)	104.0	100.7	105.6	85.6
公立病院 (全体)	100.0	95.5	97.3	76.1

※ 各指標の算式 (消費税抜き)

1. 経常収支比率

$$\frac{\text{経常収益 (医業収益 + 医業外収益)}}{\text{経常費用 (医業費用 + 医業外費用)}} \times 100$$

2. 医業収支比率

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

② 医療機能等指標に係る数値目標と実績

□ 函館病院

項目	目標値	R元実績	R2実績
院内がん登録件数（※）	1,500件以上	1,378件	（見込）1,343件
救急車受入件数（へり含む）	5,000件以上	5,687件	5,097件
手術件数（手術室分）	3,000件以上	2,963件	2,627件
分娩件数	200件以上	148件	170件
他病院への医師等派遣	年間延べ200日以上	301日	314日

※院内がん登録件数については1月～12月の暦年で表示。R2は集計中のため見込数値。

□ 恵山病院

項目	目標値	R元実績	R2実績
入院患者のうち、医療区分2,3（※）の割合	80%以上を維持	83.4%	84.4%
救急患者受入人数	300人以上を維持	329人	193人
入院透析患者数	11人	9.6人	12.1人
外来透析患者数	5人	8.8人	7.7人
地域ケア会議の開催	年12回開催を維持	年5回開催	年6回開催

※人工呼吸器や人工透析等を必要とする、慢性期の中でも医療の必要度が高い患者

□ 南茅部病院

項目	目標値	R元実績	R2実績
救急患者受入人数	300人以上を維持	278人	61人
地域ケア会議の開催	年12回開催	年5回開催	年3回開催
地域との懇談会等の開催	年8回開催	年0回開催	年0回開催

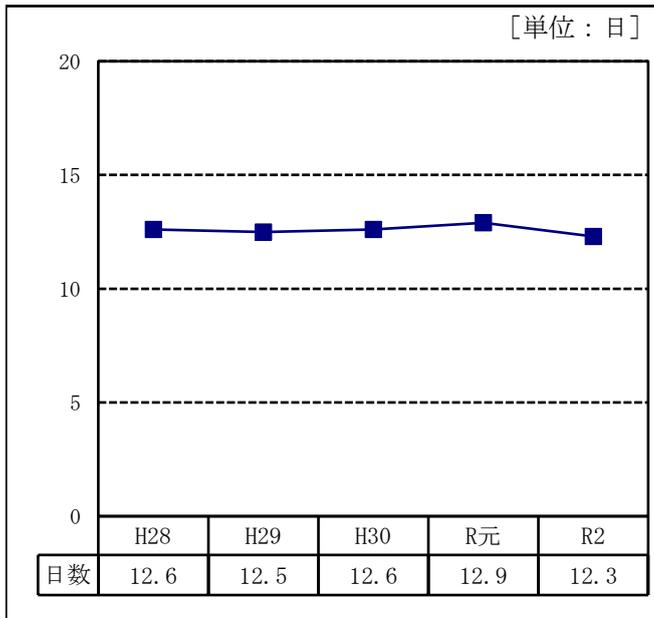
Ⅱ 過去5か年の経営実績

1 医業収益（函館病院）

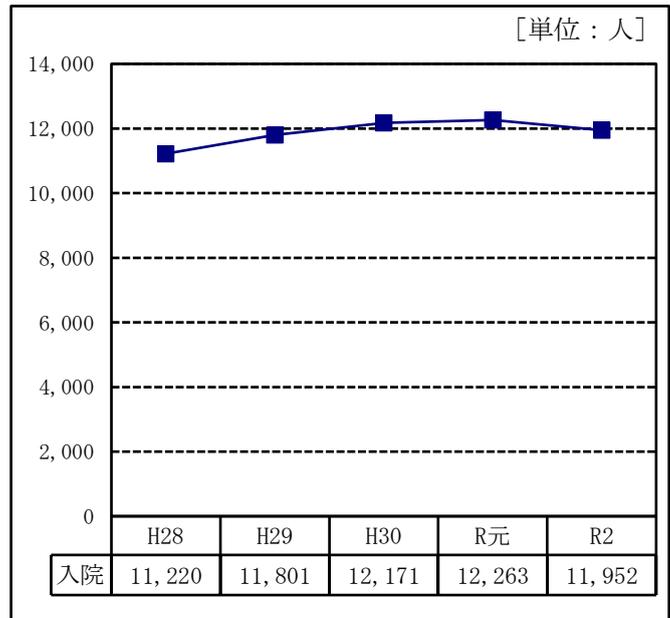
令和2年度の一般の年間平均在院日数は12.3日で、前年度の12.9日に対し0.6日縮まり、また、新規入院患者数は11,952人で、前年度の12,263人に対し311人の減となったことから、1日平均の入院患者数は437.1人となり、前年度の470.6人に対し33.5人の減となっています。

患者1人あたり入院診療単価は83,091.4円で、前年度の74,230.4円に対し8,861円の増となっています。

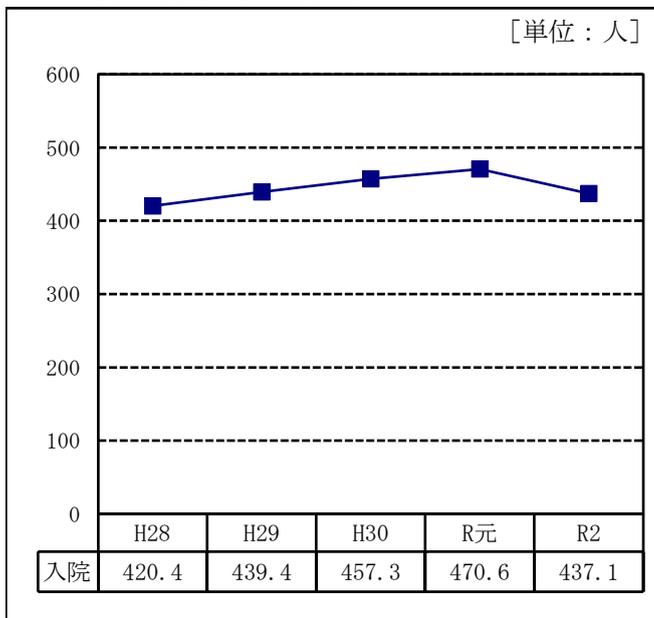
□ 年間平均在院日数（一般）



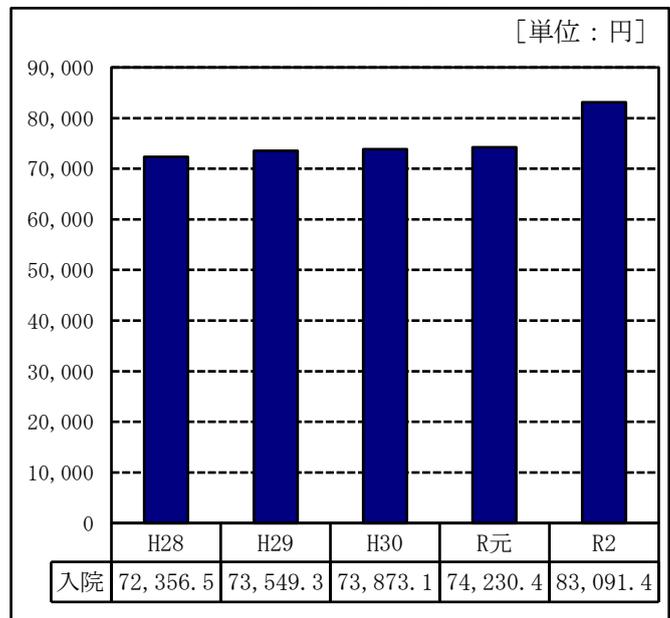
□ 新規入院患者数



□ 入院患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価

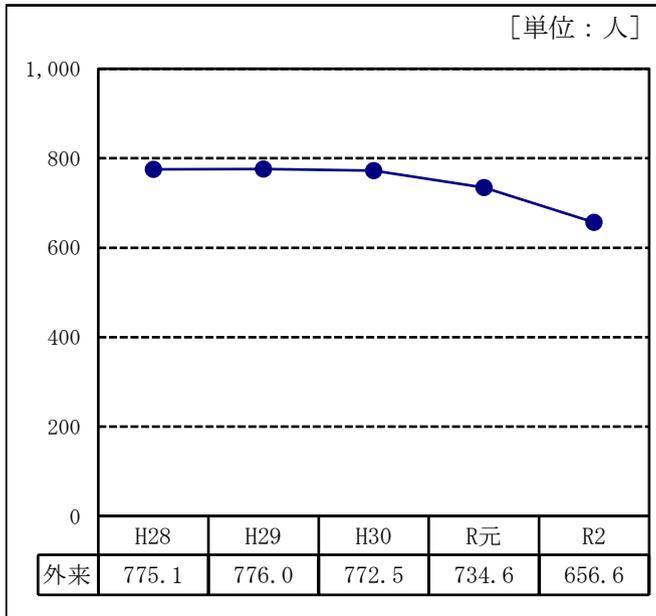


令和2年度の入院中外来を除いた1日平均の外来患者数は656.6人で、前年度の734.6人に対し78人の減となっています。

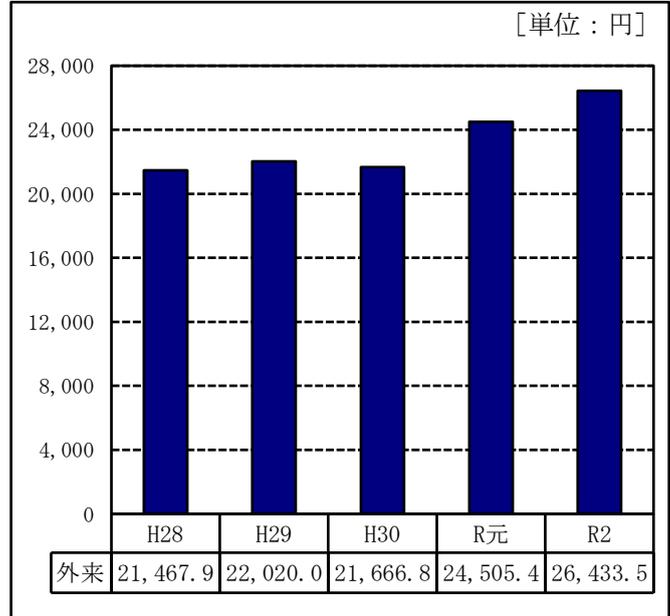
患者1人あたり外来診療単価は26,433.5円で、前年度の24,505.4円に対し1,928.1円の増となっています。

また、救急患者を除いた患者紹介率は62.3%で、前年度の50.3%に対し12%の増、逆紹介率は133.5%で、前年度の114.1%に対し19.4%の増となっています。

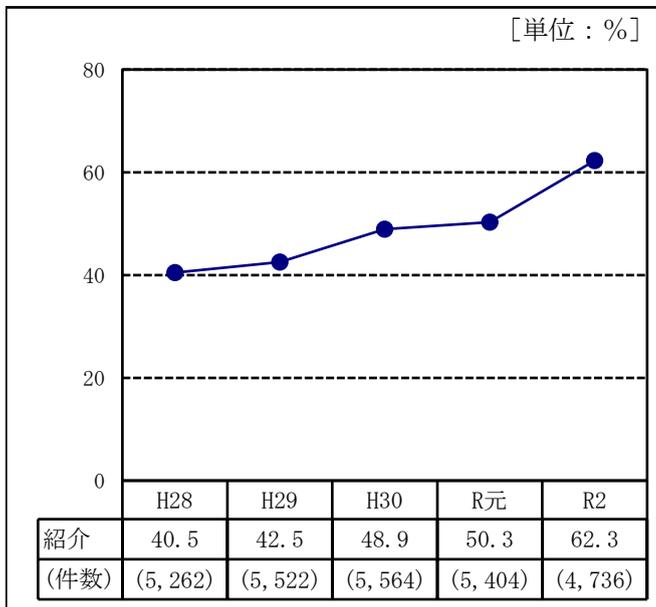
□ 外来患者数（1日平均）



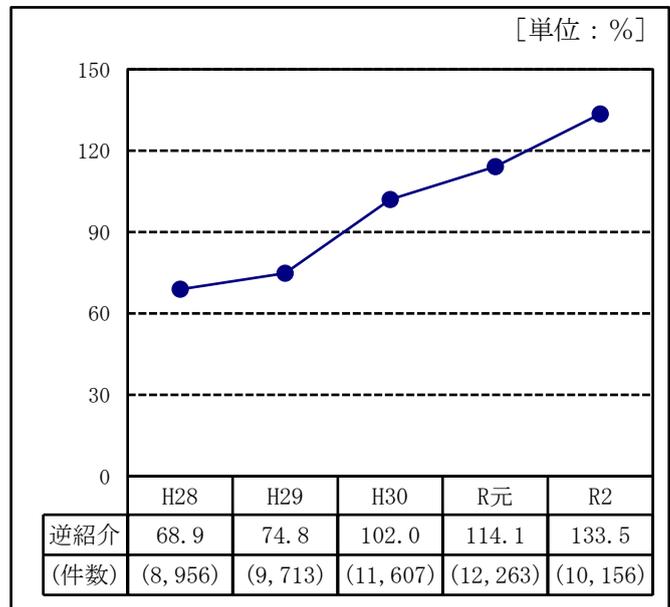
□ 患者1人あたり外来診療単価



□ 患者紹介率（救急患者を除く）



□ 患者逆紹介率

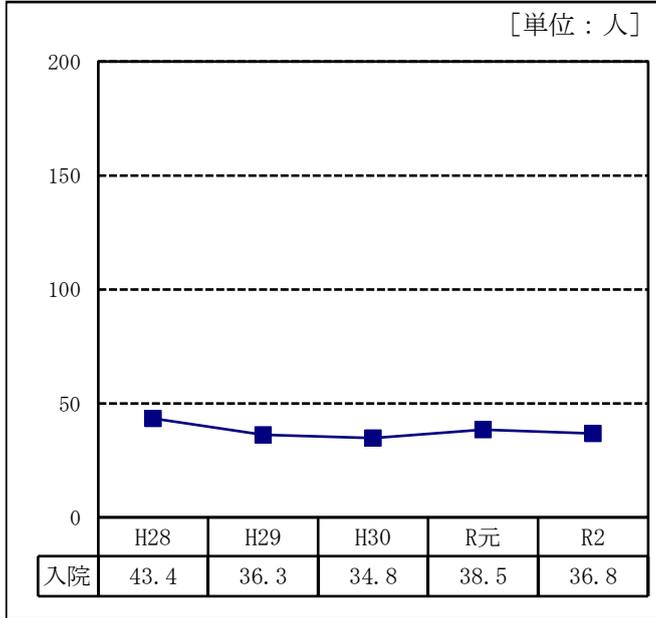


2 医業収益（恵山病院）

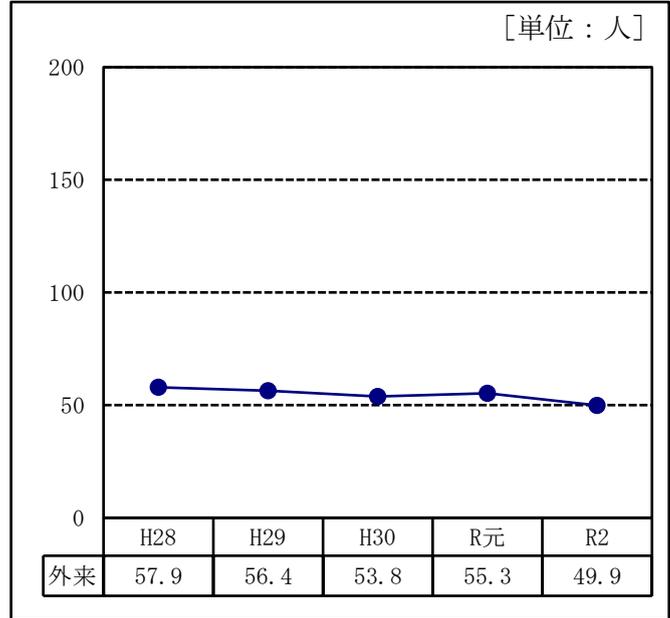
令和2年度の1日平均の入院患者数は36.8人で、前年度の38.5人に対し1.7人の減、外来患者数は49.9人で、前年度の55.3人に対し5.4人の減となっています。

患者1人あたり入院診療単価は22,186.1円で、前年度の21,160.2円に対し1,025.9円の増、外来診療単価は7,363.6円で、前年度の7,776.3円に対し412.7円の減となっています。

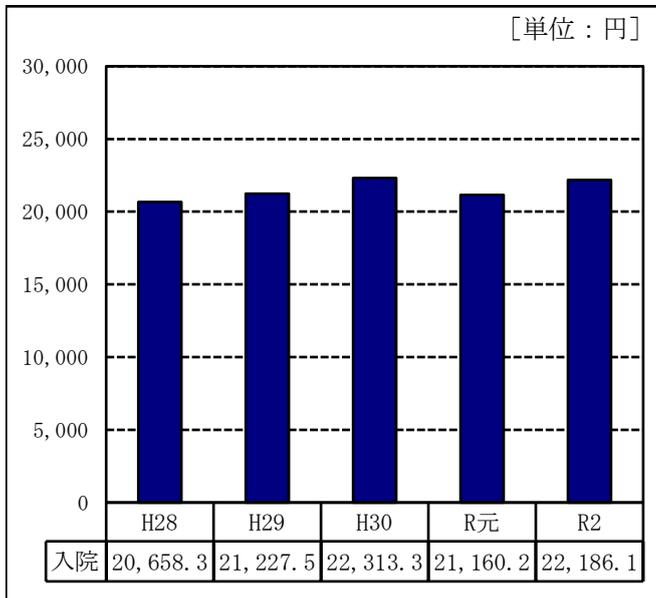
□ 入院患者数（1日平均）



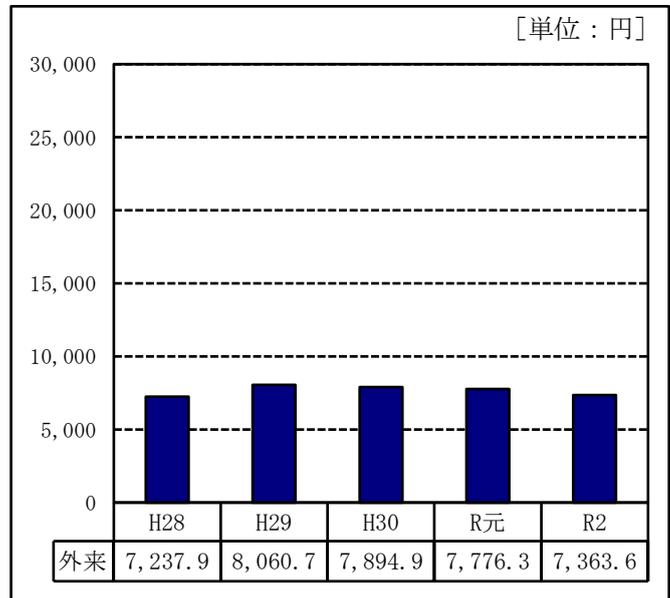
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



3 医業収益（南茅部病院）

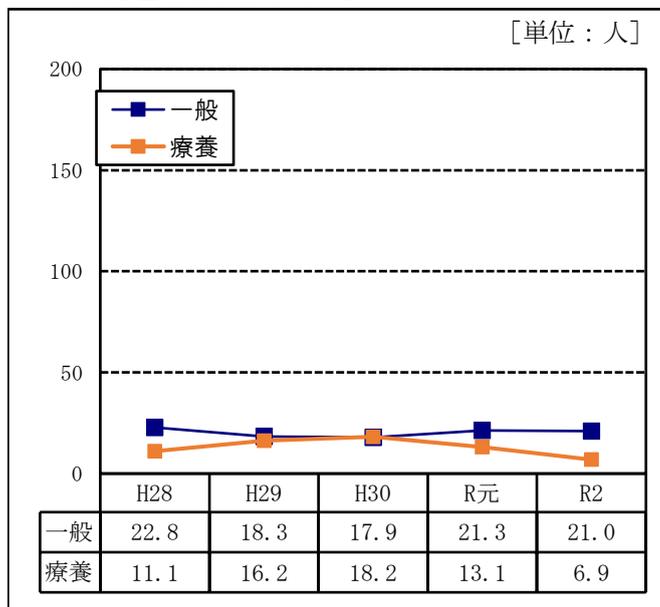
令和2年度の1日平均の入院患者数は、一般は21.0人で、前年度の21.3人に対し0.3人の減，療養は6.9人で、前年度の13.1人に対し6.2人の減となっています。

また、外来患者数は72.7人で、前年度の78.9人に対し6.2人の減となっています。

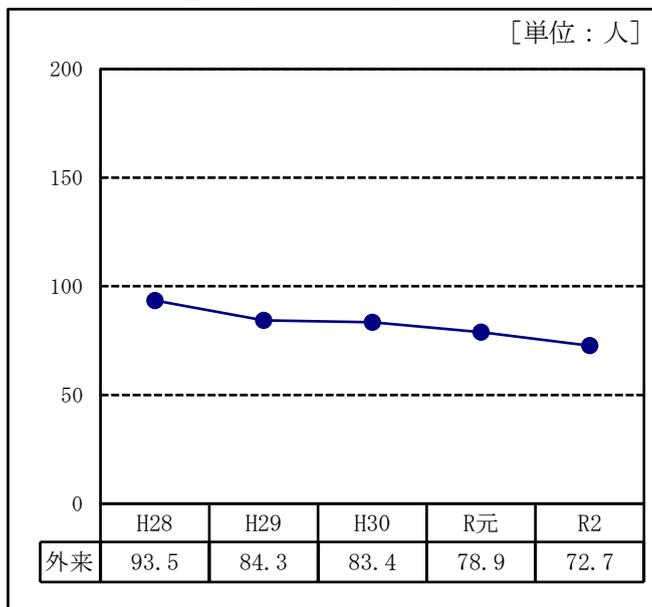
患者1人あたり入院診療単価は、一般は20,795.1円で、前年度の21,988.5円に対し1,193.4円の減，療養は7,847.9円で、前年度の7,910.4円に対し62.5円の減となっています。

また、外来診療単価は5,324.5円で、前年度の5,794.4円に対し469.9円の減となっています。

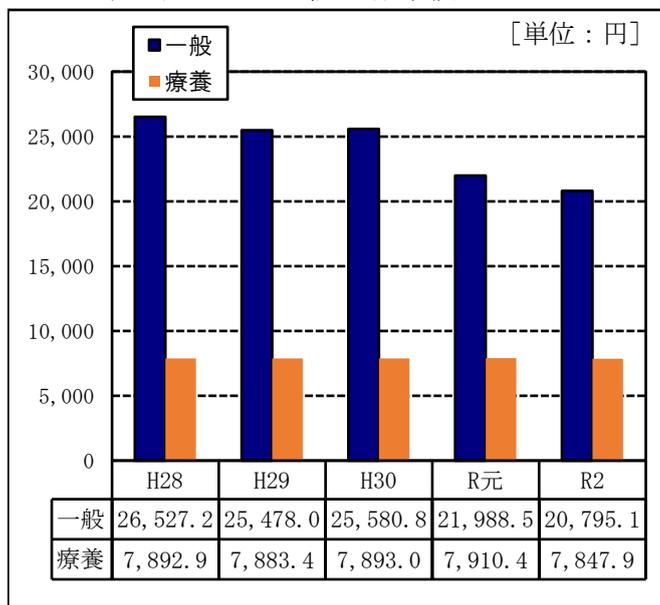
□ 入院患者数（1日平均）



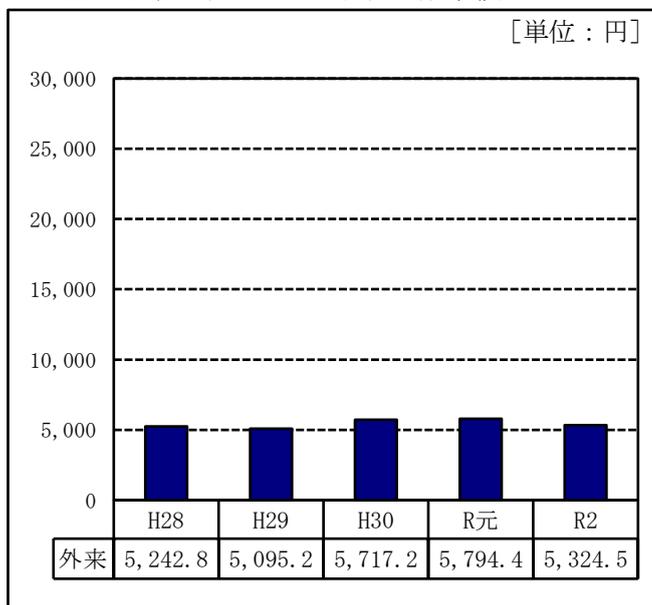
□ 外来患者数（1日平均）



□ 患者1人あたり入院診療単価



□ 患者1人あたり外来診療単価



4 函館病院の医業収益に対する材料費の割合

函館病院のジェネリック医薬品の採用率は、令和2年度 品目数ベースで87.8%となっており、前年度の86.2%に対し1.6%増となっています。

入院・外来収益の合計は、患者1人あたり入院診療単価の増等により前年度に比べ3億3,476万8千円増加していますが、これに伴い材料費も前年度に比べ3億5,528万3千円増加しました。

その結果、材料費が医業収益に占める割合は前年度に対して1.38%の増の35.22%となったものの、医業収益から材料費を除いた数値につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響下において前年度を下回ったものの、平成30年度を上回っています。

【ジェネリック医薬品の採用状況】

※品目数ベース

ジェネリック医薬品採用数 ÷ 使用薬品の内ジェネリック医薬品がある薬品数 × 100

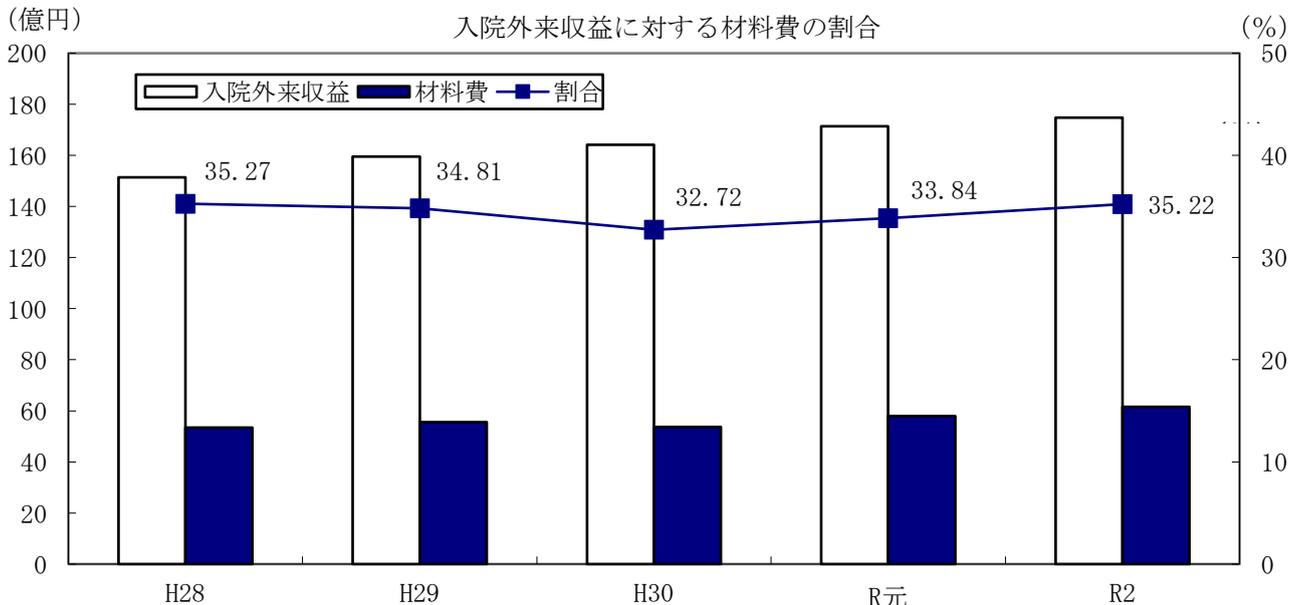
H31.3月末現在
83.7%



R2.3月末現在
86.2%



R3.3月末現在
87.8%



[単位：千円]

区分	H28	H29	H30	R元	R2	R2-R元
入院収益	11,103,392	11,795,622	12,329,573	12,784,109	13,257,732	473,623
外来収益	4,043,552	4,152,098	4,083,936	4,356,688	4,217,833	△ 138,855
計 A	15,146,944	15,947,720	16,413,509	17,140,797	17,475,565	334,768
薬品費	3,314,283	3,482,519	3,288,569	3,554,326	3,624,916	70,590
診療材料費	2,027,861	2,068,254	2,082,149	2,245,629	2,530,322	284,693
計 B	5,342,144	5,550,773	5,370,718	5,799,955	6,155,238	355,283
B ÷ A × 100	35.27%	34.81%	32.72%	33.84%	35.22%	1.38%
A - B	9,804,800	10,396,947	11,042,791	11,340,842	11,320,327	-20,515

※消費税込みの額で算出しているため1ページの数値とは一致しません。

※参考：全国公私病院連盟の調査に基づく500床以上病院の平均値

区分	H26.6調査	H27.6調査	H28.6調査	H29.6調査	H30.6調査
材料比率(※)	25.1%	27.9%	27.5%	29.3%	27.5%

※材料費（薬品費＋診療材料費＋医療用消耗備品費＋給食用材料費）÷医業収益（入院＋外来＋その他）

Ⅲ (新) 改革プラン収支計画との比較

1 収支計画と実績の比較

資金過不足額

(単位：百万円)

区 分		H29	H30	R元	R2	
函館病院	単年度	計画	△ 1,670	△ 176	0	177
		実績	△ 1,670	78	35	1,724
	累積	計画	△ 3,220	△ 3,396	△ 3,396	△ 3,219
		実績	△ 3,220	△ 3,142	△ 3,107	△ 1,383
恵山病院	単年度	計画	△ 29	△ 20	0	0
		実績	△ 29	2	2	△ 2
	累積	計画	20	0	0	0
		実績	20	22	24	23
南茅部病院	単年度	計画	△ 9	△ 27	0	0
		実績	△ 9	△ 6	13	13
	累積	計画	27	0	0	0
		実績	27	21	34	47
合計	単年度	計画	△ 1,708	△ 223	0	177
		実績	△ 1,708	74	50	1,735
	累積	計画	△ 3,173	△ 3,396	△ 3,396	△ 3,219
		実績	△ 3,173	△ 3,099	△ 3,049	△ 1,313

注 R2の資金過不足額には、コロナ関連の特殊な補助金（函館16億3,800万円，
恵山2,500万円，南茅部1,700万円，計16億8,000万円）を含む。

資金不足比率

(単位：百万円)

区 分	H29	H30	R元	R2
計 画	18.3	18.9	18.3	17.2
実 績	18.3	17.3	16.4	6.9

※ H30の給与見直しの効果額を含む

一般会計繰入金

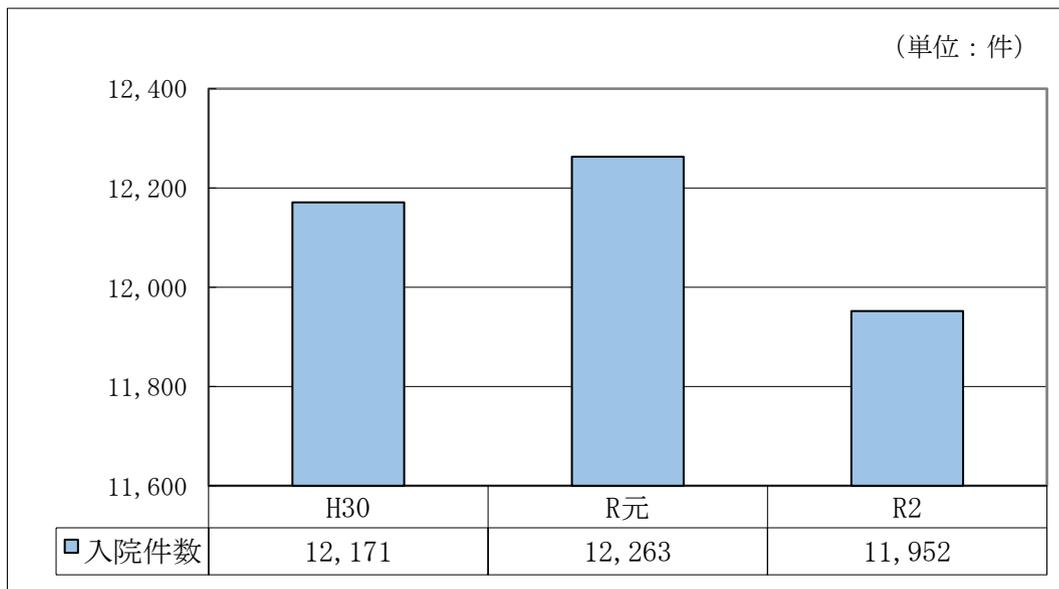
(単位：百万円)

区 分	H29	H30	R元	R2
計 画	2,944	2,896	2,738	2,627
実 績	2,944	2,895	2,841	2,631

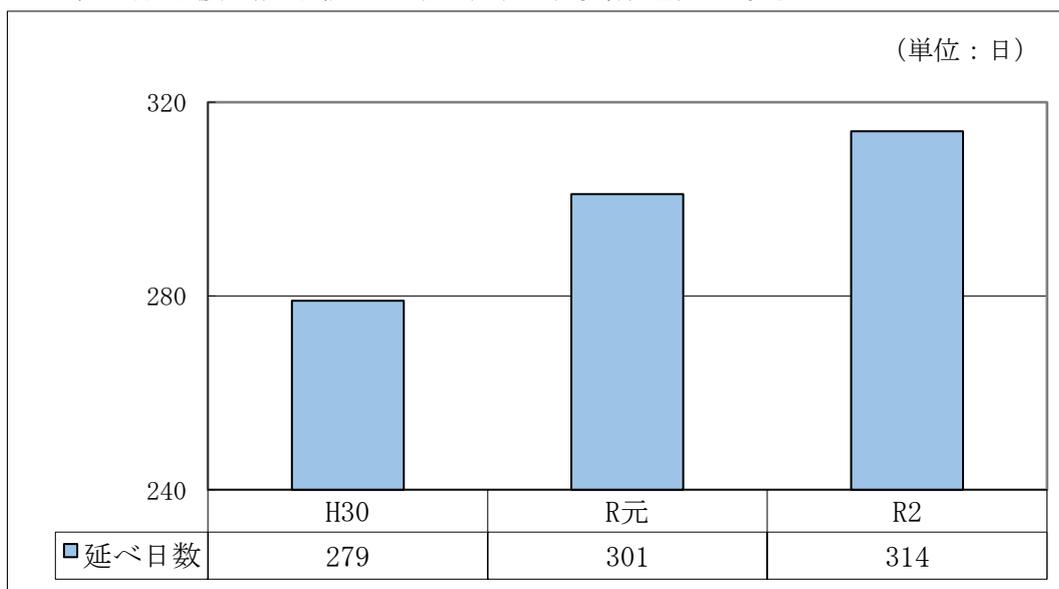
2 函館病院の経営効率化に向けた取り組みの実績

(1) 入院件数の増加

① 入院件数



② 地域診療応援（他病院への医師等の職員派遣）の状況



※派遣先病院：北海道立江差病院，木古内町国民健康保険病院，森町国民健康保険病院，松前町立松前病院，長万部町立病院，奥尻町国民健康保険病院，せたな町立国保病院

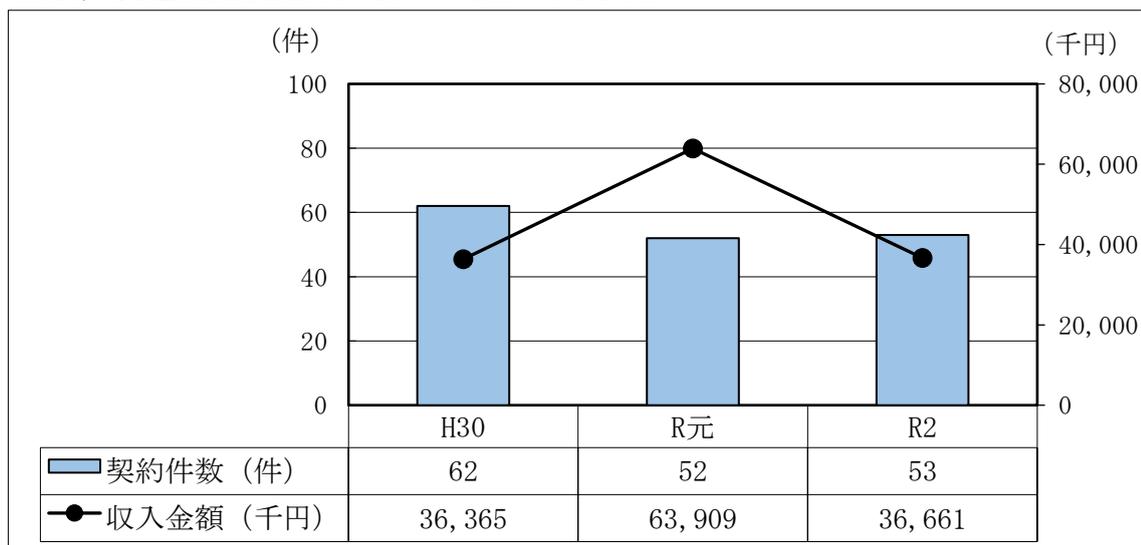
(2) 平均在院日数の適正化

退院時のDPC入院期間の割合

(単位：%)

区分	H30	R元	R2
I～II以内	53.8	52.4	55.2
上記以外	46.2	47.6	44.8

(3) 治験，製造販売後臨床試験への積極的な参加

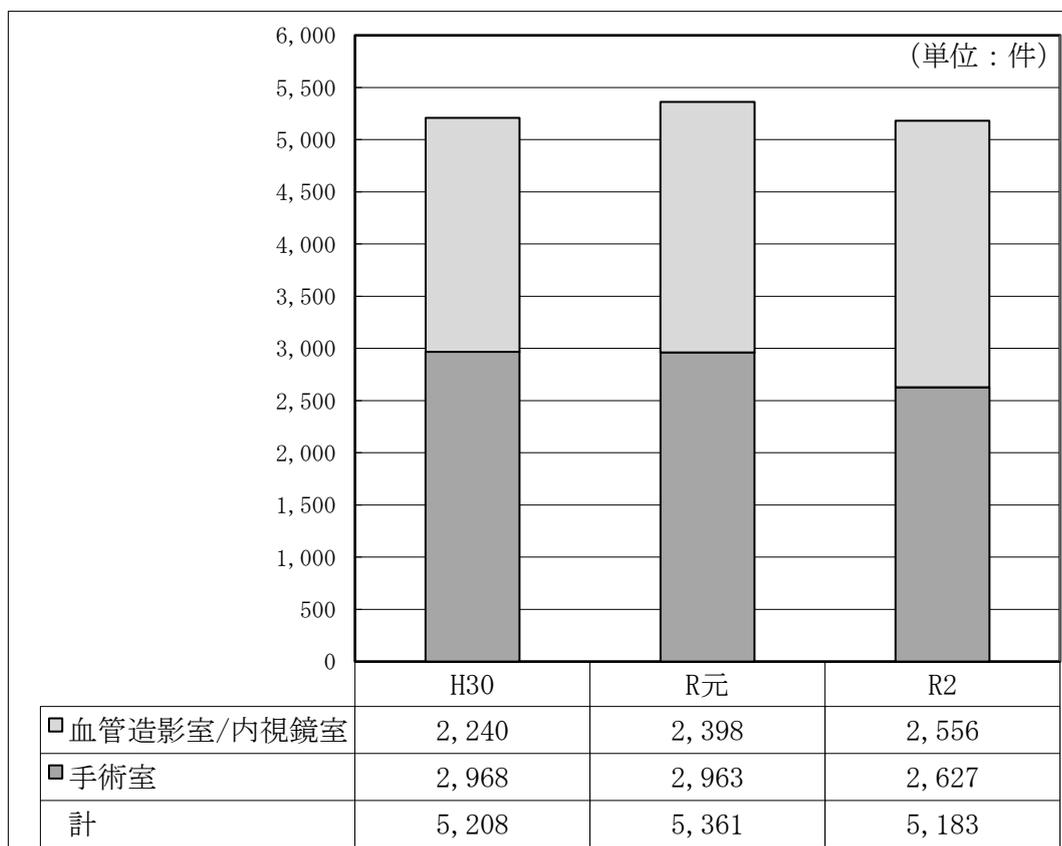


(4) 材料比率の見直し

(単位：千円)

区 分	H30	R元	R2
入院外来収益 A	16,413,509	17,140,797	17,475,565
薬品診療材料費 B	5,370,718	5,799,955	6,155,238
B/A (%)	32.7	33.8	35.2
A - B	11,042,791	11,340,842	11,320,327

(5) 手術件数



参考：市立函館病院における新型コロナウイルス感染症への対応について

(令和2年2月～令和3年5月31日)

1. 地域における医療体制の役割分担

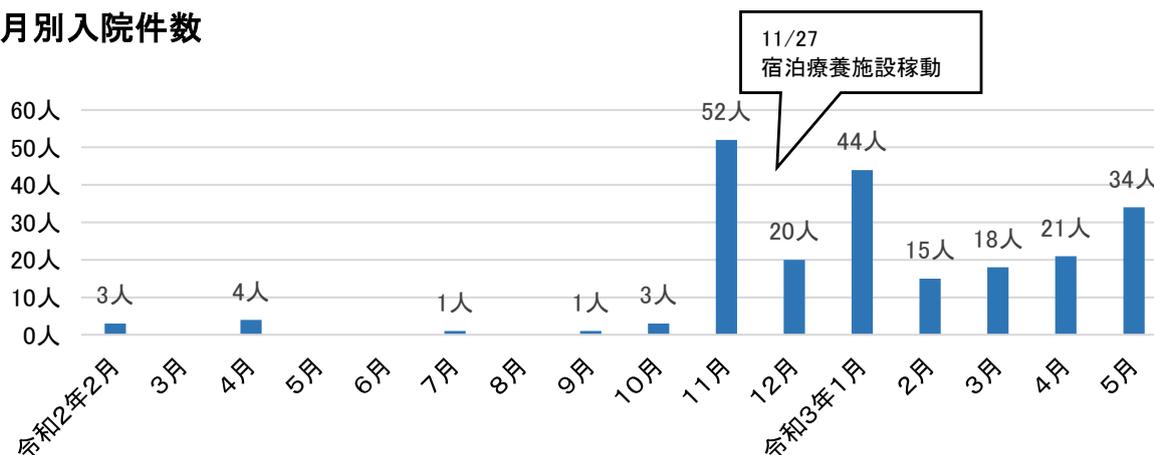
道南地域では、函館市医師会が中心となり、道南の主要な医療関係者と保健所が連携協力し調整した医療体制の役割分担のもと、市立函館病院は、重症・中等症の患者を中心に、基礎疾患を有するなどのリスクがある軽症患者の受入れを行っています。

2. 新型コロナウイルス感染症の患者数および函病における入院患者数

	患者数
渡島振興局管内	1,022人
檜山振興局管内	118人
計 A	1,140人

	患者数
函病入院数 B	216人
$B/A \times 100$	18.9

3. 月別入院件数



4. 入院患者の住所地

二次医療圏	患者数
南渡島	203人
(うち函館市)	(168人)
北渡島檜山	3人
南檜山	7人
その他	3人
計	216人

5. 重症割合, 平均入院日数

	軽症・中等症	重症
患者数	147人	69人
(割合(%))	68.1	31.9
平均入院日数	11.2日	13.6日